

研修(研究)報告書

平成29年11月10日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 江田 計司 

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	江田 計司		
日時	平成29年11月3日(金)~平成 年 月 日() 午前・午後 2 時00分 ~ 午前・午後 5 時10分		
場所	東京八重洲カンファレンスセンター	参加者数	30名
研修(研究)事項	そんなに難しい人口減少対策		
概要及び所見	<p>関東学院大学法学部 牧瀬 稔氏 記</p> <p>①人口減少を克服するには地域の活性化が必要 その為には2014年にまち・ひと・しごと 創生法が制定された この法律は我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の 減少に歯止めをかけるとともに東京圏への人口の過度の集中を是正、その為に 地方創生が必要との事</p> <p>②地方創生の政策目標 将来人口推計では約8,600万人まで減る予測となっている そして国は2060年の目標人口は約1億人と、想定値よりも1,400万人の増加を目標 している 2040年は全ての都道府県で減少となる 最も減少の大きい県は秋田県の35.6% 続いて青森県の32.1% 人口減少に歯止めをかける為には、人口が継続的に増加していく為に自然増の 状態ではなくてはならない 自然増を達成するには、出生数の増加や死亡数の減少が基本 又、既存住民を対象に転出を抑制、潜在住民を対象に転入促進する 社会増の視点 その為の地方創生が必要である 地方創生とは地方自治体が従前と違う初めてのことを実施していく あるいは、他自治体と違う初めてのことに取り組んでいくと定義できそうである</p> <p>③自治体間競争の幕開け 地方自治体がそれぞれの地域性や空間的特徴などの個性・特色をいかすことで 創意工夫を凝らした政策を開発し、他地域から住民等を獲得することである</p>		